

## 剰余演算方法

### 概要

本アプリケーションノートは、チャンネル間演算機能および Archi\_1 で剰余を求める演算例を記述しています。

### 剰余の求め方

剰余は、被除数が\$1、序数を\$2として\$10に剰余を格納する場合、以下のように記述できます。

$$\$10 = \$1 - \text{INT}(\$1/\$2) * \$2$$

例)

$\$1 = 1,2,3,4,5,6$ 、 $\$2 = 3$ の時、 $\$10 = 1,2,0,1,2,0$ となります。

負数の剰余について

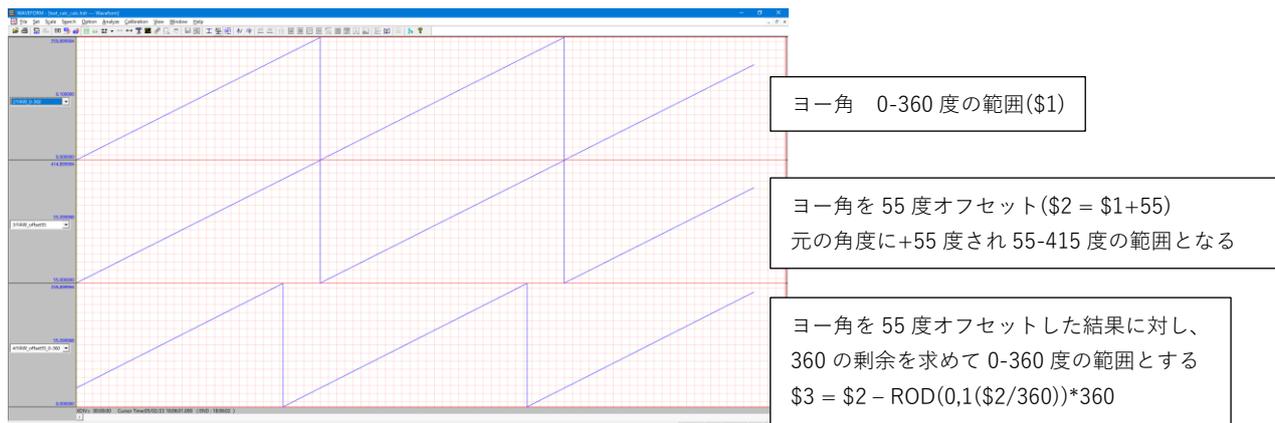
$\$1 = -5$ 、 $\$2 = 3$ の時、上記式では剰余として-2が得られます。

剰余として1を得たい場合は  $\text{INT}(X)$ 部分を、 $\text{ROD}(0,1,X)$ としてください。エクセルワークシートのMOD関数はこちらです。

剰余の考え方については、 $0 \leq \text{剰余} < |\text{序数}|$ と、 $-|\text{序数}|/2 \leq \text{剰余} < |\text{序数}|/2$ と異なる定義がありますので、どちらの結果も誤りというわけではありません。必要な処理に応じてどちらかを選択してください。

使用例

0-360度の範囲で変化するヨー角に後処理でオフセットを追加し、オフセット追加後に0-360度範囲に入るよう再計算する。



改定履歴

2021/5/31	Ver.1.01	誤記修正
2021/5/28	Ver.1.00	初版